



2014.12
NO.79

キャンピング ひょうご

編集発行：兵庫県キャンプ協会 [HYOGO CAMPING ASSOCIATION]

- 1 -

キャンピングひょうご No.79

(BUC 対象事業)

キャンプ白熱教室2014 報告

日程：11月8日(土)

会場：神戸市青少年会館レクホール

キャンプの現場で役立つ技術・知識を習得する講習。今回は20代から60代まで22名が参加し、「キャンプにおける振り返り」について、体験学習とグループディスカッションを交えて研鑽の場としました。

ほぼ全員が「振り返り」についてはOJTや研修ではなく、自団体のキャンプ形態に応じた振り返りが中心でしたから、他団体のキャンプリーダーと交流して様々な形態の活動に対する振り返りの手法や視点に触れ、啓発されたようでした。



講座内容

「キャンプにおける振り返り」 講師：山本 雄亮氏（有限会社ソウルメイトスタッフ）

① 午前の部

キャンプリーダーにとって、実施した活動に対する参加者への成果についての振り返り・リーダー同士における振り返りは重要なテーマです。そのためにもリーダーとしての視点から一参加者の立場に立ち戻り、アイスブレイクゲームに身を置き、緊張をほぐしてお互いを知り、話しやすい雰囲気を作り出すことから入りました。

続いて山本さんから、グループに分かれてイニシティブゲームをしながらグループの共同作業の効率化について競わせてから振り返りを行い、振り返りの手法について参加者に体験してもらいました。参加者から、アイスブレイクの進め方にも得るところがあったという感想がありました。



② 午後の部

グループ分けのまま昼食になり、午前の会話の流れを引き継いで、活発な意見交換の場になりました。続いて3グループに分かれてグループ討議に移りましたが、はじめに参加者各自が疑問に思う振り返りの現状についてお互いに出し合い、意識の差を埋めてゆく作業からスタートしました。そこからグループメンバーを組み替えて、違うグループに移ったメンバーと元のメンバーとの討議になり、違った意見に触発されてさらに議論が深まったようです。振り返りと反省の違い、振り返りは必ず必要か、などという根本的な討議も見られ、若手も年配者も時間の過ぎるのも忘れて熱心に話しあいました。

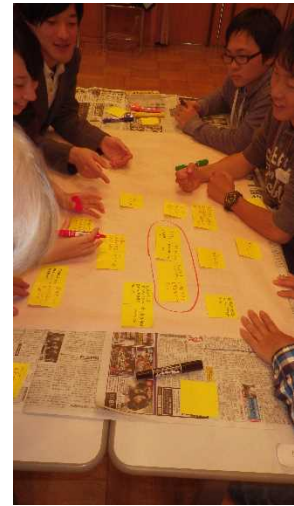
参加者の皆さんには、自分の振り返りの「引き出し」が、違う考えを持った人の「引き出し」に触れることで、より一層理解を深めたり、新たな観点をつかんだり、考え直すきっかけになったりと、啓発に富んだ研修になったようでした。

次ページに続く

アンケートで寄せられた参加者の声

- はじめは振り返りについて漠然としたまま来たが、イメージが固まったのと、より良い振り返りの方法をいくつも知れたことがよかった。今後のキャンプに取り入れたい。
- 重要性はわかっていたつもりだったが、みんなが振り返りをどのように思っているか、振り返りの工夫など、様々な意見が聞けてよかった。これからのキャンプでこんな風にやっていきたい！という思いが芽生えた。
- 今日を振り返り、固定観念を持っていたことに気付いた。この研修に参加して、振り返りとはどういうものかをイメージできた。仲間とのつながりや達成感などで、言葉をつなげていくことも意識していきたいと思いました。

(報告者：副理事長 朝倉 克浩)



【2014年度 新加入団体紹介】

NPO 法人八子高原・氷ノ山自然体験村

(養父市八子高原)

物心が付いた頃から林間学校の中で育ち、阪神間の先生(お客様)のお宅に良く遊びに行っていました、そんな背景の人がやっています。

目の前の仕事から「わんぱくツアー20万部配布終了」セオリー通りの計算でツアー料金を設定して予約を受け付けています。予約の状態が地域経済の格差として表れてきます。申し込み1位姫路地区、姫路城、黒田官兵衛、竹田城の経済効果が非常に大きい・毎年2位淡路、毎年安定した観光振興が継続されている場所です。人口の割合からすれば毎年1位です。毎年順位は、違いますがこれを見てその地域にアクションを起こしています。尚、1位、2位の所には地域再生の折り重なりヒントが隠されています。同業種、異業種、公的機関が良く折り重なり経済効果を出しています。



観光振興だけでもイベントだけでも偏って効果までは出せません。互いにテンションを上げる→モチベーション(本気度)→イノベーションを起こさせる。ツアーもただ集客するならその地域に合わせて料金設定しますが、幾つもの意味合いを重ねながら取り組んでいます。未来を拓くためにみんなで本気度を上げています。真剣にやれば、知恵が出る・中途半端なら、愚痴出る・いい加減なら、言い訳が出る。昔の人は良い言葉を残しています。正にその通り、子どもの笑顔は宝、出来る限り知恵を出してがんばります。

先日、宿泊して頂いた大学生にアンケートを取りました。結果は、「絆、みんなで、一緒に、仲間、参加者全員が楽しめる、全力、思い出」が予約のキーワードです。これで現場の行事を組んで行きます。正にキャンプの出番です。

星の観察をしていて星のバランスと隙間はすごいなと驚き、除細動のような月の働きにも驚き、宇宙と目の前の出来事は、まったく同じ相対関係に有り、DNAも同じだなと感じました。良く怒る人、時間に遅れたり、勘違いしたり、何か抜けていたり、そんな「たいせつ」な宇宙の隙間やバランス持っている人・組織が好きです。

キャンプ関係者の皆様向けに「このはな」では、結構、団体お客様の言い値で、宿泊受け付けをしています。よろしくお願ひします。



プラトーこのはな 代表 田淵 國光(D1)

(BUC 対象事業)

ひょうごキャンプ塾

日程：9月27日(土)
会場：神戸市青少年会館会議室

ひょうごキャンプ塾 2014 の第 1 回目が 9 月 27 日(土)に開催されました。

参加者は 14 名と多くの参加をいただき有意義な会となりました。今年度のキャンプ塾は、総会時にお諮りしたとおり、25 周年を終えた兵庫県キャンプ協会が「今後どう進んでいくべきか?」「そのためにどんな事業をすべきか?」がテーマですが、今回のキャンプ塾では、「兵庫県キャンプ協会はどうかあるべきか?」といった根本的な部分を確認しました。

午前中の第 1 部は、兵庫県キャンプ協会高見彰会長(日本キャンプ協会理事)と清水勲夫副会長(日本キャンプ協会運営委員)に登場いただき「日本キャンプ協会の最新動向」をお話しいただきました。日本キャンプ協会の公益法人化を経て、兵庫県キャンプ協会も単なる日本キャンプ協会の支部ではなくなりましたが、その運営にはやはり日本キャンプ協会の動向が影響します。高見会長には、公益法人化後の日本キャンプ協会の動きや 2014 年以降の動きをご紹介いただき、日本キャンプ協会の基本方針そのものが兵庫県キャンプ協会の今後を考える上で参考になるのではないかとの提案を受けました。そして、清水副会長からは、日本キャンプ協会の現状を踏まえながら、兵庫県キャンプ協会の置かれている姿や現状についてのお話しがありました。兵庫県キャンプ協会を俯瞰するという意味でとても役立つ内容でした。

昼食をはさんだ午後の第 2 部では、2 グループに分かれて、今後の兵庫県キャンプ協会はどうかあるべきかを話し合いました。それぞれの立場から兵庫県キャンプ協会を思う存分に話していただきあっという間の 2 時間 30 分となりました。

やはり、このように近い距離で会員同士が話し合うことが協会運営には重要であることが実感できる時間となりました。出されたアイデアも兵庫県キャンプ協会を方向付ける上で大変有用であり、第 1 回目から実りの多いキャンプ塾となりました。今回を今後に生かし、第 2 回も期待したいと思います。より多くの会員の皆様の参加をお待ちしています。

(報告者：理事長 甲斐知彦)



(訃報) 今井 鎮雄氏(兵庫県キャンプ協会初代会長)

兵庫県キャンプ協会の初代会長(現顧問)であり、日本の組織キャンプの先駆者でもある神戸 YMCA 名誉顧問の今井鎮雄氏が 11 月 3 日、93 歳でご逝去されました。多くの分野、特に児童、青少年の福祉、教育活動には本年に至るまで陣頭のご活躍でした。ご功績に感謝し、心よりご冥福をお祈り致します。



(会員交流プロ)



冬の味覚を楽しむディキャンプ

～家族といっしょに美味しい冬を～

冬こそアウトドア、あたたかい炭火いろりをみんなで囲み、季節の旬を味わいながら、仲間と家族とひとときを楽しみませんか。

相生、家島、産地直送の新鮮な海の幸が届きます。主役はなんといってもカキ！その他、新鮮な食材を皆で調理します。去年は山の幸、猪の参加もありました。今年はさて、何が出るやら・・・兵庫県キャンプ協会自慢の冬のイベントです。

明石架橋が見渡せる、海辺のロケーション。垂水駅から徒歩10分の会場です。

◇日時 2015年2月15日(日)11:00～15:00(現地集合)

◇会場 垂水スポーツガーデン(クラブハウス横)

神戸市垂水区平磯 ☎078(751)1212 (時間100円の駐車場有)

(車)2号線、垂水福田川東へ約400m、垂水海浜公園信号を南へ

(歩)JR垂水駅 東口より徒歩10分(当日10:40東口集合のご案内)

◇内容 焼きガキ、魚のたたき、スモークチキン、カモ肉の網焼き、ホルモンうどん、パンケーキ他(メニューは変更されることがあります)

◇対象 兵庫県キャンプ協会会員、ご家族 定員30人

◇参加費 ひとり2,500円(こども1,500円、当日徴収、アルコール類は個人で)

◇持ち物 防寒着、軍手、タオル、必要な方はエプロン(清涼飲料自販機有)

◇申込み 名前(参加者全員)、会員No、住所、Tel、車/徒歩を明記の上、兵庫県キャンプ協会事務局までFAX、郵送、又はE-Mailにてお願いします。

*受付後、確認のご返事をTel、メールにて致します。お問い合わせもお気軽に



《2014年度 正会員の登録について》

～12月26日(金)が締切です～

兵庫県キャンプ協会では、一般の会員(全会員)がお申し出登録により「正会員」となる制度があります。正会員は総会の構成者で、議決権が付与されます(現在77名)。総会の案内が直接届きますが、委任状による欠席も可能です。会員としての特典は特になく、辞退届が無い限り継続されますが、2年続けて無断欠席の場合、自動除外されます。毎年、年末に締切り、翌年の総会のご案内が届きます。新規登録はメール FAX、郵送にて受付けます。なお、一般会員の方へも総会告知はされ、カザハ-出席は可能です。団体会員は全て正会員となります。

=ご不明な点、お尋ねは事務局まで=

《編集後記》

年末はクリスマスの賑わいで心が踊りますね。アウトドアでもスキーに雪中キャンプにと胸躍らせる季節でもあります。寒さを蹴散らして新しい年に弾みをつけましょう。また一方で、昔ながらの伝統よろしく餅つきや凧揚げに興じてみるのも日本の冬に似つかわしく楽しいのかも知れません。新年が待ち遠しいですね。

広報担当 (K・A)

— 兵庫県キャンプ協会事務局 —

〒650-0011

神戸市中央区下山手通 4-16-3

兵庫県民会館 8F OAA 気付

TEL/FAX 078(333)7677

HP <http://hyogo.camping.or.jp/>E-mail= hyogo@camping.or.jp